取扱説明書

K760
K760 Rescue

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、
内容を必ずご確認ください。

Japanese

シンボルマークの説明

取扱説明書のバージョンについて

本マニュアルは北米以外のすべての英語圏で使用される国際バージョンです。北米で作業する場合は、米国バージョンを使用してください。

本機に表記されるシンボルマーク

警告!本機の使用には危険が伴います。不注意または不適切な使用をすると、使用者やその他の人々が重傷や致命傷を負う危険性があります。

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

防護装備を着用してください。「使用者の防護装備」の項の説明を参照してください。

この製品はEC規格適合製品です。

警告!切断の際には粉塵が発生し、人体に吸い込まれると危険です。適切な呼吸マスクをご使用ください。ガソリンの蒸気や排気を吸い込まないように注意してください。常に換気を十分に行ってください。

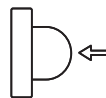
警告!キックバックは突然かつ急に、勢いよく発生し、命にかかわる傷害を発生させることがあります。マシンを使用する前に、マニュアルの説明をよく読み、理解してください。

警告!ガソリン(ガス)、木、枯草など、カッティングブレードから発生する火花から以下の可燃物に引火することがあります。

ブレードにいかなるヒビや破損もないことを確認してください。

円形鋸ブレードは使用しないでください。

チョーク

エアパージ

減圧バルブ

給油、ガソリン/オイル混合

環境に対する騒音レベルはEC指令に準拠しています。本機の騒音レベルは、主要諸元の章とステッカーに記載されています。

パワーカッターに以下のラベルが貼ってあります。

製品に付いている他のシンボル/銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

警告レベルの説明

警告は3つのレベルで構成されます。

警告!

警告!避けることができない場合、死亡したり重傷を負う可能性のある危険な状況を表します。

注記!

注記!避けることができない場合、軽中度の負傷を負う可能性のある危険な状況を表します。

注記!

注記!は人身事故に関係がない取り扱いについて使用しています。

目次

概要

お客様へ

ハスクバーナの製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

本製品にご満足いただき、末永くご愛顧いただけることを願っております。弊社製品のご購入後は、弊社技術員による修理ならびに整備をご利用いただけます。お買い上げになった販売店が正規代理店でない場合は、その販売店に最寄のサービスショップの所在地をお問い合わせください。

本取扱説明書は大切な書類です。作業場所に置いて、いつでも利用できるようにしてください。説明書の記載内容（使用方法、サービス、メンテナンスなど）に従うことにより、本機の寿命を延ばし、転売時の価値を高く維持することができます。本機を転売する場合は、必ず取扱説明書を同梱してください。

300年以上も続けられているイノベーション

ハスクバーナの歴史は、スウェーデン王であるカール11世がマスケット銃の製造を目的とした工場の建設を命じた1689年に遡ります。その時代、ハスクバーナは、猟銃、自転車、オートバイ、国産機械、ミシン、アウトドア製品などの分野で世界をリードするプロダクトを開発。それらの開発を支える技術的スキルを背景に、企業の礎がすでに築かれています。

ハスクバーナは、森林や公園のメンテナンス、芝生や庭の管理向けアウトドア用パワープロダクト、さらには、建設および石材産業向け切断装置やダイアモンド工具などのグローバル・リーダーです。

オーナーの責任

本機を安全に使用するための十分な知識を使用者に持たせることは、オーナーあるいは雇用者の責任です。監督者や使用者は、取扱説明書を読んで、それを理解する必要があります。使用者は以下の点を確認する必要があります。

- 本機の安全に関する説明事項。
- 本機の用途の範囲や使用限度について。
- 本機の使用方法とメンテナンス方法について。

本機の使用においては、国内法による規制が課せられる場合があります。本機を使用して作業を開始する前に、作業区域に適用される法律についてご確認ください。

メーカーからお客様へ

この取扱説明書の発行後、ハスクバーナ社は製品の安全な操作のための追加情報を発表する場合があります。最も安全な操作方法の最新情報を得るのは、オーナーの義務です。

ハスクバーナ社は継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

ご質問やご要望がある場合は、弊社のウェブサイト（www.husqvarnacp.com）からお問い合わせください。

設計および機能

これは石やスチールなどの硬い物質を切断するために設計された高速のハンドヘルドのパワーカッターです。この取扱説明書に記載されていない目的に使用しないでください。この製品を安全に操作するため、作業者はこの取扱説明書を注意深く読む必要があります。さらに情報が必要な場合は、販売店またはハスクバーナにご相談ください。

当社製品のユニークな機能を以下に示します。

Active Air Filtration™

遠心分離式空気浄化機能により、長期間のサービス寿命とサービスインターバルを実現。

OilGuard（K760 OilGuard）

燃料内にオイルがあるかどうか、あるいは、オイルの種類が違っているかどうかを検知するための光学的検知システム。

SmartCarb™

内蔵自動フィルター補正機能により、ハイパワーを維持し、燃料消費を削減。

Dura Starter™

防塵スターターユニットです。密閉された内部にリターンスプリングとプーリーベアリングがあり、これによりスターターが実質的にメンテナンスフリーになり、信頼性も高まります。

X-Torq®

X-Torq®エンジンは、広範囲のスピードに対して最適なトルクを提供し、最大限の切断能力を実現します。X-Torq® は、燃料消費を最大20%、排出ガスを最大60%削減します。

EasyStart

迅速で簡単なマシン始動ができるようエンジンとスターターが設計されています。スターターコードの引っ張り抵抗が40%減少しています。（始動時の圧縮を減少）

エアパージ

エアパージダイアフラムを押すと、燃料はキャブレターへ送られます。エンジンは、スターターを数回引くことで簡単に始動できます。

DEX

低フラッシング湿式切断キットによる効果的な塵埃処理

効率的な振動軽減システム

効率的な振動軽減システムにより、腕や手に加わる振動を軽減されます。

リバーシブルカッティングヘッド

マシンは、リバーシブルカッティングヘッドが取り付けられており、壁や地面へ近接して切断できます。このときの距離はブレードガードの厚みによってのみ規制されます。

特殊開発のスターターハンドル (K 760 レスキュー)

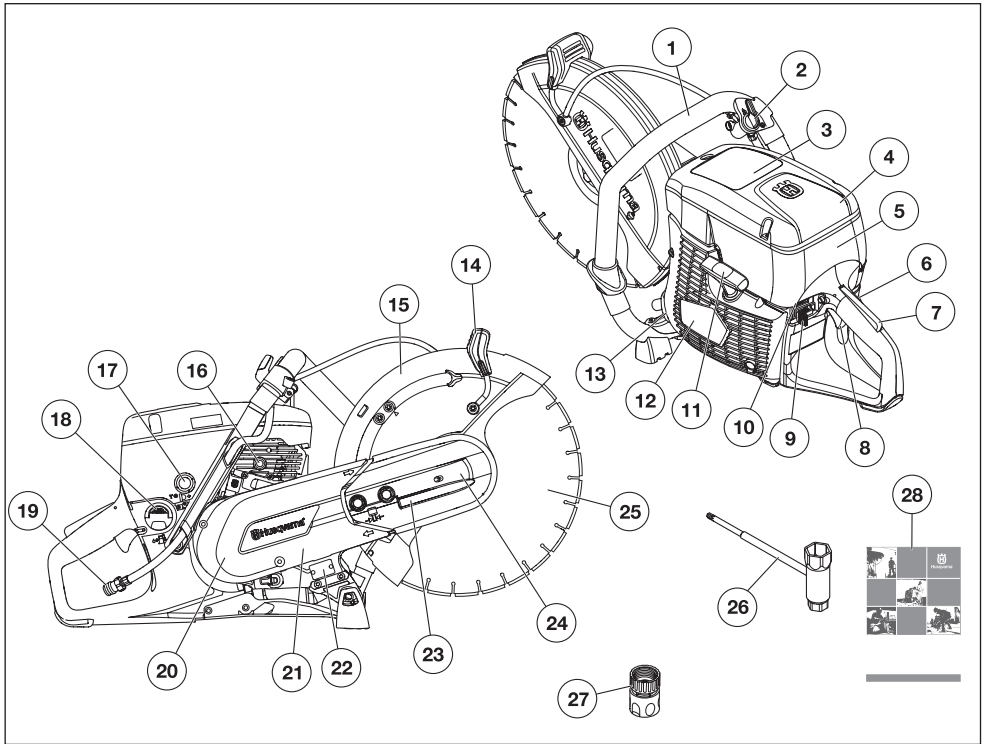
ヘビーデューティー手袋向けのスペースを持つ、特殊開発のスターターハンドル

調整可能キャリーストラップ（K 760 レスキュー）

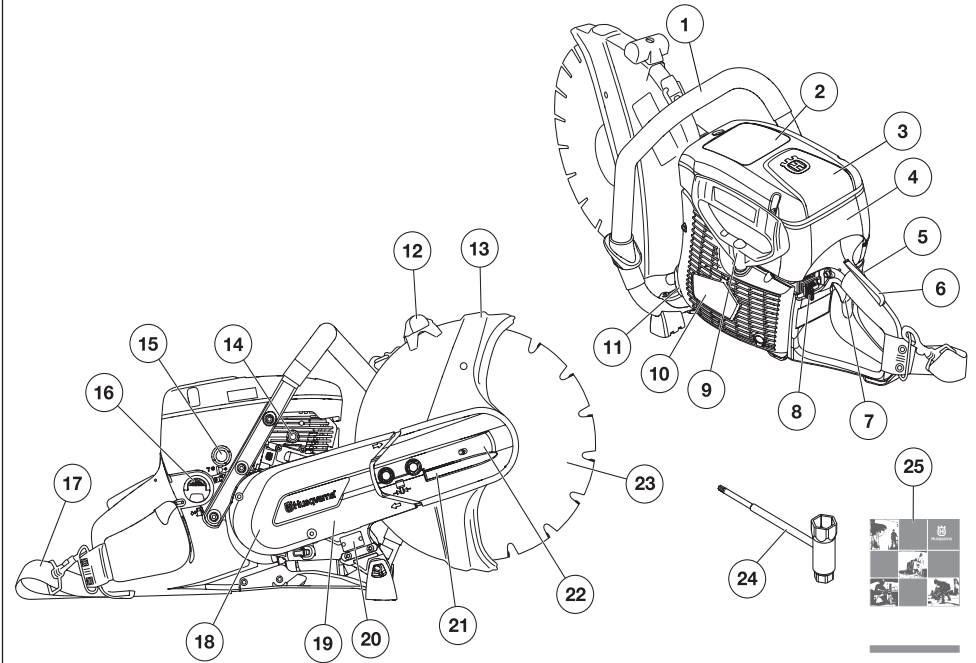
調整可能キャリーストラップにより、完全に自由な動きが可能になります。

クロムメッキ付きブレードガード(K 760 レスキュー)

煙や水しぶきの中でも見やすいクロムメッキ付きブレードガードは、カッターの操作を向上させます。

概要

パワーカッターの各部名称 - K760

1 フロントハンドル
2 水タップ
3 警告シール
4 エアフィルターカバー
5 シリンダーカバー
6 スタートスロットルロック付きチョークコントロール
7 スロットルロック
8 スロットルトリガー
9 停止スイッチ
10 OilGuardの分離機能(K760 OilGuard)
11 スターターハンドル
12 スターター
13 マフラー
14 ガード用調整ハンドル
15 ブレードガード
16 減圧バルブ
17 エアパージ
18 燃料キャップ
19 フィルター付き給水接続部
20 ベルト保護カバー
21 カッティングアーム
22 規格プレート
23 ベルトテンションねじ
24 カッティングヘッド
25 カッティングブレード（別売り）
26 コンビレンチ
27 水コネクター、GARDENA®
28 取扱説明書

概要

パワーカッターの各部名称 - K760 Rescue

1 フロントハンドル
2 警告シール
3 エアフィルターカバー
4 シリンダーカバー
5 スタートスロットルロック付きチョークコントロール
6 スロットルロック
7 スロットルトリガー
8 停止スイッチ
9 スターターハンドル
10 スターター
11 マフラー
12 ガード用調整ハンドル
13 ブレードガード
14 減圧バルブ
15 エアパージ
16 燃料キャップ
17 ハーネス
18 ベルト保護カバー
19 カッティングアーム
20 規格プレート
21 ベルトテンションねじ
22 カッティングヘッド
23 カッティングブレード（別売り）
24 コンビレンチ
25 取扱説明書

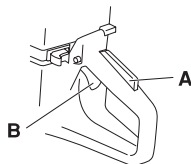
概要

警告！安全装置に欠陥のある製品は決して使用しないでください。お持ちの機械が点検項目を一点でも満たさない場合は、お近くのサービスショップに修理を依頼してください。

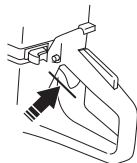
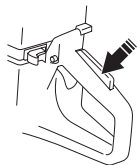
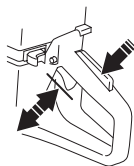
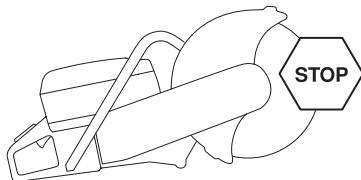
ストップスイッチをSTOP位置にして、エンジンを切ってください。

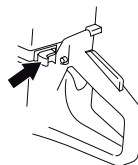
この項目は、本機の安全装置について説明しており、その目的、本機の正確な動作を確保するための検査とメンテナンスの方法を記載しています。

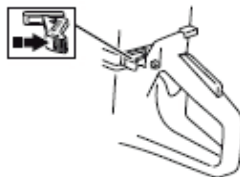
スロットルロック

スロットルトリガーロックはスロットルの操作ミスを防ぐためのものです。ロック(A)が押されたとき、スロットル(B)が解放されます。

スロットルが押されている間は、トリガーロックは押されたままの状態を保ちます。ハンドルのグリップを放すと、スロットルトリガーとスロットルトリガーロックの両方が元の位置に戻ります。この動作は、2 つの独立したリターンスプリングシステムが制御しています。この構造はつまり、アイドリング位置ではスロットルトリガーが自動的にロックされることを意味します。

スロットルロックの検査

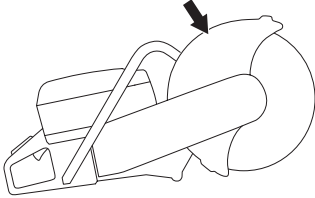
- スロットルロックを放したとき、スロットルトリガーがアイドリングの設定になっていることを確認します。

- スロットルロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。

- スロットルトリガーとスロットルロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく機能していることを点検します。

- パワーカッターを始動し、フルスロットルにします。スロットルトリガーを放せばカッティングブレードの走行が停止し静止状態が保たれることを確認します。スロットルがアイドリングの位置にあるにもかかわらずカッティングブレードが走行する場合は、キャブレターのアイドリング調整をチェックしてください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

停止スイッチ

停止スイッチはエンジンを切るときに使用します。

ストップスイッチの検査

- エンジンを始動し、ストップスイッチを停止設定にしたときにエンジンが停止することを確認します。

製品の安全装置

ブレードガード

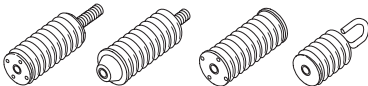
警告!本機を始動する前に、ガードが正しく装着されていることを必ず確認してください。

カッティングブレードの上にガードが取り付けられています。ガードはブレードや切断小片が作業者に向って飛ぶのを防ぐためのものです。

ブレードガードの状態を検査します。

- カッティングブレード上のガードを検査し、ひび割れや損傷がないかを確認します。損傷があるときは交換します。
- カッティングブレードが正しく取り付けられており、損傷が存在しないことを確認します。損傷のあるブレードは、人的な傷害を招きます。

振動軽減システム

警告!循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚まひ、うずき、ちくちくする痛み、刺すような痛み、力が入らない、皮膚の色の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。この症状は低温の環境下でよく起こります。

- 本機には振動軽減システムがついており、振動をやわらげ操作しやすいようになっています。
- 本機の振動軽減システムは、エンジンユニットや切断装置とハンドル間の振動の伝導を軽減します。切断装置を含むエンジン本体は、振動軽減ユニットによってハンドルを振動から守っています。

振動軽減システムの検査

警告!ストップスイッチをSTOP位置にして、エンジンを切ってください。

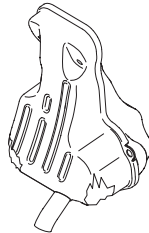
- 振動軽減システムにヒビや変形がないか、定期的に点検します。損傷がある場合、交換して下さい。
- 振動軽減システムがエンジンユニットとハンドルユニットの間にしっかりと固定されていることを確認します。

マフラー

警告!マフラー無しのマシンや欠陥のあるマフラーを装着したマシンは決して使用しないでください。マフラーに損傷があると騒音レベルや火災の危険性が高くなります。消化装置をお手元に装備してください。

マフラーは使用中および使用直後、そしてアイドリング時に非常に熱くなります。特に可燃物や可燃性ガスの近くで作業をするときは、火災の危険性に注意してください。

消化装置をお手元に装備してください。

マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざける働きをします。

マフラーの点検

マフラーが完全に正常で、正しく固定されていることを定期的に確認します。

製品の安全装置

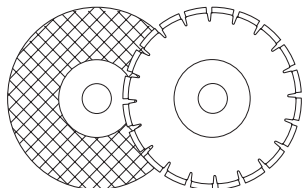
概要

警告!カッティングブレードが壊れて、作業者が損傷を受けることがあります。

カッティングブレードのメーカーは、カッティングブレードの使用と正しい手入れに関する警告と推奨事項を公表しています。これらの警告はカッティングブレードに同梱されています。カッティングブレードメーカーからの指示を読み、従ってください。

カッティングブレードは、パワーカッターに取り付ける前に確認し、使用中にも頻繁に確認する必要があります。ヒビ、切片(ダイアモンドブレード)の欠損、または破損した部品がないか調べてください。損傷のあるカッティングブレードを使用しないでください。

新しいカッティングブレードごとに約1分間フルスロットルで運転して、問題がないことをテストしてください。

- カッティングブレードは2種類の基本デザインがあります。研磨ブレードとダイアモンドブレードです。

- 高品質ブレードは、ほとんどの場合、最も経済的なものとなります。低品質のブレードを使用すると切断能力が劣化し、パワーカッターの耐用年数が短くなります。その結果、切断できる材料の量を考慮するとコスト高になります。
- 本機に取り付けられるカッティングブレードには、正しいブッシングを使用してください。「カッティングブレードの組立」の説明を参照してください。

適切なカッティングブレード

カッティングブレード	K760	K760 Rescue
研磨ブレード	使用可*	使用可*
ダイアモンドブレード	使用可	使用可
歯付きブレード	使用不可	使用可**

詳しくは、「主要諸元」を参照してください。

*水なし

**「"歯付きブレード、カーバイドチップブレードおよび緊急事態"」の説明をご覧ください。

様々な素材へ対応するカッティングブレード

警告!カッティングブレードを意図されていない材料には絶対に使用しないでください。

プラスチック材の切断にダイアモンドブレードは決して使用しないでください。切断中に熱が発生してプラスチックが溶け、カッティングブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

金属の切断は、火災の原因となる火花を発生させます。引火しやすい物質またはガスの近くでマシンを使用しないでください。

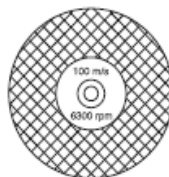
様々な用途に対するブレードの適性に関しては、カッティングブレードの説明書に従うか、代理店にご相談ください。

	コンクリート	金属	プラスチック	鋳鉄
研磨ブレード	X	X	X	X
ダイアモンドブレード	X	X*		X*

* 特殊ブレードのみ。

ハンドヘルド、高速カッター

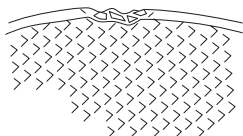
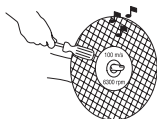
警告!パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを使用しないでください。ハンドヘルド高速パワーカッター用のカッティングブレードのみを使用してください。

- このパワーカッターに取り付けられるカッティングブレードの多くは固定式のパワーカッター用で、このハンドヘルドパワーカッターに必要な定格速度よりも遅いものです。このパワーカッターでは、定格速度が遅いカッティングブレードを決して使用しないでください。
- ハスクバーナのカッティングブレードは携帯用高速パワーカッター用に製造されています。
- ブレードがエンジンの定格銘板に記載の速度あるいはそれ以上に準拠しているか確認してください。パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを使用しないでください。

ブレードの振動

- フィード時にかかる圧力が高すぎると、ブレードには、ひずみが生じて、振動することがあります。
- フィード時の圧力を下げることにより、振動を停止させることができます。あるいは、ブレードを交換します。

研磨ブレード

警告!水と共に研磨ブレードを使用しないでください。研磨ブレードは、水や湿気にさらされると強度が低下し、ブレード破壊の危険が増します。

- 研磨ブレード上の切断素材は有機結合材で接着した粒子から構成されています。「補強ブレード」は繊維または繊維ベースの材料を使用しており、最高作動速度の際にブレードがヒビや損傷を受けても、完全に破損することを防止します。
- カッティングブレードの性能は研磨粒子のタイプやサイズ、ならびに結合剤の種類および硬度により決まります。
- ひび割れや損傷のあるカッティングブレードは決して使用しないでください。

- 研磨ブレードを指で吊り下げ、ねじ回しのようなツールで軽く叩いてください。ブレードから共鳴音が聞こえないときは、破損しています。

様々な素材へ対応する研磨ブレード

ブレードの種類	材質
コンクリートブレード	コンクリート、アスファルト、石材、鋳鉄、アルミニウム、銅、真ちゅう、ケーブル、ゴム、プラスチックなど。
メタルブレード	鉄、鉄合金、その他の硬質金属。

ダイアモンドブレード

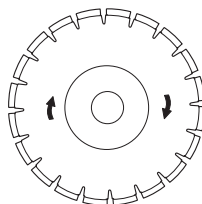
概要

警告!プラスチック材の切断にダイアモンドブレードは決して使用しないでください。切断中に熱が発生してプラスチックが溶け、カッティングブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

ダイアモンドブレードは、使用中、非常に熱くなります。誤った使用はブレードの過熱を引き起こし、ブレードの変形によって、損傷や傷害を招くことがあります。

金属の切断は、火災の原因となる火花を発生させます。引火しやすい物質またはガスの近くでマシンを使用しないでください。

- ダイアモンドブレードは、工業用ダイアモンドを含む切片が鋼鉄製ブレード本体に付いた構成になっています。
- ダイアモンドブレードは交換頻度が低く、一定の切断深度を保つことができ、切断操作に係るコストを低減することができます。
- ダイアモンドブレードを使用するときは、ブレードに表記された矢印の方向に回転することを確認してください。

様々な素材へ対応するダイアモンドブレード

- ダイアモンドブレードは石材、補強コンクリート、その他の複合材料の切断に適しています。
- ダイアモンドブレードには、硬度に関して、いくつかのクラスがあります。
- 特殊ブレードは、金属を切断する場合使用してください。製品の正しい選択については、販売店にご相談ください。

ダイアモンドブレードの研ぎ方

- 常に鋭利なダイアモンドブレードをお使いください。
- ダイアモンドブレードは、フィード時に間違った圧力をかけたり、強化鉄筋コンクリートなどの材料を切断すると、鋭さが失われます。鈍くなったダイアモンドブレードで作業をすると、ブレードの過熱を発生させ、ダイアモンド切片の緩みを招くことがあります。
- 砂 岩やれんがのような柔らかい物質を切断してブレードの目立てを行ってください。

ダイアモンドブレードと冷却

- 切断中、切断部の摩擦によりダイアモンドブレードが高温になります。ブレードの温度が高くなり過ぎると、ブレードのテンションが失われたり、コアに亀裂が入ったりする原因になります。

乾式切断用のダイアモンドブレード

- 冷却に水は不要ですが、乾式カッティングブレードは、ブレードの周囲の空気の流れにより冷却する必要があります。このため、乾式カッティングブレードは断続的な切断にのみ推奨されます。切断の数秒ごとに、負荷をかけずにブレードを運転して、ブレードの周囲の空気により熱を逃がす必要があります。

湿式切断用のダイアモンドブレード

- 湿式切断用のダイアモンドブレードは、切断中にブレードコアと切片の温度を低く保つために、水とともに使用する必要があります。
- 湿式カッティングブレードを乾燥状態で使用しないでください。
- 水なしで湿式カッティングブレードを使用すると、過度の発熱が起こり、性能の低下やブレードの激しい損傷の原因となり、危険です。
- 水冷却はブレードの寿命を長くし、同時にほこりの堆積を減少させます。

歯付きブレード、カーバイドチップブレードおよび緊急事態

カーバイドチップブレードは、訓練を受けたスタッフが救助活動でのみ使用するものです。

搬送と保管

- カッティングブレードを付けたままパワーカッターを保管したり、搬送しないでください。使用後はすべてのブレードを取り外し、注意してブレードを保管してください。
- カッティングブレードは乾燥した霜の発生しない場所に保管してください。研磨ブレードは注意して取り扱ってください。研磨ブレードは必ず水平にして保管してください。研磨ブレードを湿気のある場所で保管すると、バランスが悪くなり、負傷の原因になります。
- 新品のブレードは、搬送や保管による損傷がないか点検してください。

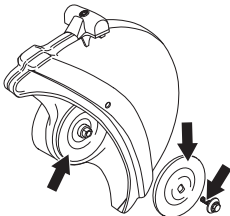
概要

警告！ストップスイッチをSTOP位置にして、エンジンを切ってください。

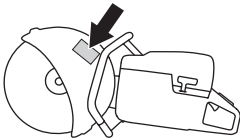
ハスクバーナのブレードはハンドヘルドパワーカッター用に認定された高速ブレードです。

スピンドルシャフトとフランジウォッシャーの点検

ブレードを新品に交換した場合、フランジウォッシャーとスピンドルシャフトを点検します。

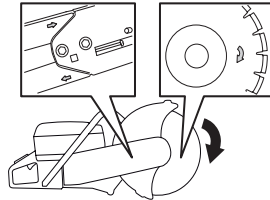
- スピンドルシャフト上のねじ山に損傷がないか確認します。
- ブレードとフランジワッシャーの接触面に損傷がないこと、正しいサイズであること、汚れがなく、スピンドルシャフト上で適切に動作することを確認します。

曲がっていたり、角がかけていたり、不均衡であったり、または汚れているフランジウォッシャーは使用しないでください。違ったサイズのフランジワッシャーは使用しないでください。

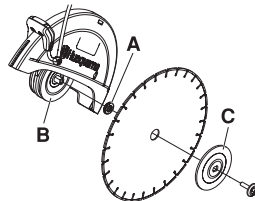
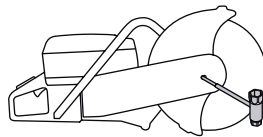
アーバブッシングの点検

アーバブッシングは、マシンをカッティングブレードの中心ホールへ取り付けるために使用されます。本機には、ひっくり返して 20 mm または 1 インチ（25.4 mm）の中心ホールがあるブレードに取り付けることができるブッシング、または固定された 20 mm のブッシングが同梱されています。ブレードガード上のステッカーは、工場出荷時のブッシングの種類と適切なブレード仕様を示しています。

- 本機のスピンドルシャフト上のブッシングと、カッティングブレードの中心ホールがぴったりと合っていることを確認してください。ブレードにはセンター穴の直径が記してあります。

必ずハスクバーナ製のブッシングを使用してください。ハスクバーナ製のブッシングは製品専用に設計されています。

ブレード回転方向の検査

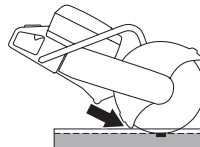
- ダイアモンドブレードを使用するときは、ブレードに表記された矢印の方向に回転することを確認してください。マシンの回転方向は、カッティングアーム上の矢印で示されています。

カッティングブレードの取付

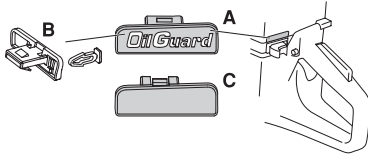
- ブレードは、内部フランジワッシャー（B）とフランジワッシャー（C）の間のブッシング (A) 上に設置されます。フランジワッシャーを回し、軸へ取り付けます。

- シャフトをロックします。工具をカッティングヘッドの穴へ挿入して、ロックされるまでブレードを回転します。

- ブレードを止めているボルトの締め付けトルクは以下の通りです。25 Nm（215 ポンド）

ブレードガード

カッティング装置用ガードを適切に調整して、後ろ側が切断対象物と同一平面上になるようにします。ガードは切断くずや火花が飛び散るのを妨ぎ、使用者を保護します。

ブレードガードはフリクションロック方式になっています。

- ガードの終端を加工物へ押し付けるか、あるいは、調整ハンドルによってガードを調整してください。ブレードガードを、パワーカッターに必ず取り付けてください。

OilGuardの解除（K760 OilGuard)

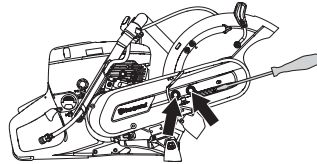
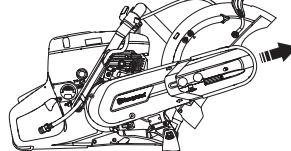
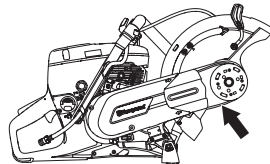
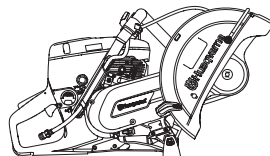
- **マシンの納入時、**OilGuard**プラグ**（A)**とブルーインジケータピン**（B)**がタンクに付いています。**

- ハスクバーナのOilGuardオイルではなく、同等の品質のオイルを使用する場合、分離機能を使用してOilGuardシステムを無効にすることができます。
- 機能を無効にするには、ドライバーでOilGuardプラグを外し、インジケータピンを折ります。次に、分離プラグ（C)をタンクに取り付けて解除作業を終了し、穴をカバーします。
- OilGuardシステムを再び有効にするには、OilGuardプラグを再び押します。システムは有効になりますが、インジケータピンは壊れているために使用できません。
- 壊れているインジケータピンは、OilGuardシステムは分離されていることを意味します。
- スペア用として新しいインジケータピンを購入できますが、このピンは単色のグレーになり、マシンの工場出荷後、OilGuardシステムが無効にされたことが分かるようになっています。

リバーシブルカッティングヘッド

マシンは、リバーシブルカッティングヘッドが取り付けられており、壁や地面へ近接して切断できます。このときの距離はブレードガードの厚みによってのみ規制されます。

キックバックが起こった場合、カッティングヘッドが裏返り、切断するときにマシンの制御が難しくなります。カッティングブレードがマシンの中心から離れることは、ハンドルとカッティングブレードのアラインメントが、もはや一致していないことを意味しています。このような状態で、ブレードがキックバック危険ゾーンで挟まったり、引っかかったりした場合、マシンを抑制するのは非常に難しくなります。キックバックに関する詳細内容については、「操作」内の「キックバック」を参照してください。

バランスなど、マシンが備えている人間工学的に優れた機能が一部無効になります。裏返したカッティングヘッドによる切断は、一般的な方法による切断が困難な場合にのみ実施するようにしてください。

- 最初に二箇所のボルトを緩め、続いて調整ねじを緩めて、ベルトのテンションを無くします。

- 次に、ボルトを緩めて、ベルトガードを外します。

- ブレードガードから水ホースを外します。
- ベルトプーリーからベルトを外します。

- この時点で、カッティングヘッドは緩んでいて、マシンから取り外すことができます。
- カッティングヘッドを取り外して、カッティングアームのもう一方の側へ取り付けます。

- 裏返しになったカッティングヘッドにベルトガードを取り付けます。
- 駆動ベルトを締めます。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。
- 水ホースニップルとホースをブレードガードの反対の上部に取り付けてください。

燃料の取扱

概要

警告!密室や換気の悪い場所でエンジンをかけると窒息死や一酸化炭素中毒の原因となることがあります。1メートル以上の深い溝や堀などで作業する場合、ファンを使用して適切な換気を確保してください。

燃料や燃料ガスは、非常に可燃性が高く、人間がそれを吸いこんだり、皮膚に付けたりすると深刻な傷害を引き起こすことがあります。このため、燃料を取り扱い際は細心の注意を払い、十分な換気を確保するようにしてください。

エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となり得ます。屋内や可燃物付近では、決して本機を始動しないでください!

燃料付近では、喫煙したり、熱い物体を置いたりしないでください。

燃料

注記!本機は２サイクルエンジンを搭載しているため、運転にはガソリンと２サイクルエンジンオイルとの混合燃料が必要です。正しい混合率を確保するためには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。

ガソリン

- ガソリンは良質の無鉛または有鉛ガソリンを使用してください。
- 推奨される最低オクタン価は90（RON）です。オクタン価が90未満のガソリンを使用すると、ノッキングの原因となります。ノッキングが起きるとエンジンの温度が上がって、エンジンの深刻な損傷につながることがあります。
- 高回転を継続させて作業する場合、オクタン価の高いガソリンをお奨めします。

環境に優しい燃料

ハスクバーナは、Aspen（アスペン）２サイクル燃料または４サイクルエンジン用のエコガソリンに２サイクルオイルを下表のとおり混合したもののいずれかの、アルキレート燃料の使用を推奨します。燃料のタイプを変更した場合、キャブレターの調整が必要です。ご注意ください。（「キャブレター」参照。）

エタノールを混合した燃料、E10が使用できます（エタノールの混合率最大10%）。E10を超えたエタノール混合燃料の使用は動作条件を劣化させて、エンジンの損傷を引き起こします。

2サイクルオイル

K760

- 最良の効果を得るには、ハスクバーナ２サイクルエンジンオイルをご使用ください。このオイルは本機に使用される空冷式２サイクルエンジン用として特別に調合されています。
- アウトボードオイル(TCW)とも呼ばれる水冷エンジン用の２サイクルオイルは絶対に使用しないでください。
- ４サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。

K760 OilGuard

- ハスクバーナOilGuard 2 サイクルオイルを使用してください。

混合

- ガソリンとオイルを混合するときは、常に清潔な燃料用容器をご使用ください。
- 必ず使用予定の半量のガソリンを、最初に容器に入れます。次にオイルの全量を入れます。燃料の混合物を良く混ぜ（振り）ます。最後に残りのガソリンを加えます。
- パワーカッターの燃料タンクに給油する前に、混合燃料を良く混ぜ（振り）ます。
- 1ヵ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。

混合比

- ハスクバーナ2サイクルオイルまたは同等のものを使用の場合1:50（2%）

ガソリン、リットル	2サイクルオイル、リットル 2%(1:50)
5	0.10
10	0.20
15	0,30
20	0,40

- 空冷2サイクルエンジン用に調合されたオイルクラスJASO FBまたはISO EGBまたはオイル製造者の推奨に従って混合したものを使用する場合1:33（3%）

給油

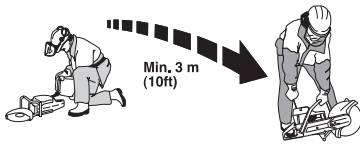
警告!給油をする前には、必ずエンジンを止めて数分間温度が下がるのを待ってください。ストップスイッチをSTOP位置にして、エンジンを切ってください。

給油の際には、超過圧力が徐々に放出されるよう、燃料キャップをゆっくり開けてください。

燃料キャップの周囲をきれいにします。

給油後は燃料キャップをしっかり閉めてください。

キャップがしっかりしまっていない場合、キャップが振動で緩くなり、燃料が燃料タンクからもれて火災の危険性が生じることがあります。

給油後は、給油した場所から少なくとも3 m離れたところで始動してください。

下記の条件では、決して本機を始動しないでください:

- マシンに燃料やエンジンオイルをこぼしたとき。きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
- 皮膚や衣服に燃料をこぼしたときはまず着替えます。皮膚についた燃料を洗い流してください。石鹸と水を使用します。
- 燃料が漏れている場合。燃料キャップと燃料ホースから漏れていないか、定期的に点検してください。
- 燃料充填後に燃料キャップをしっかり締めていない場合。

搬送と保管

- パワーカッターと燃料は、電気機器、電気モーター、リレー/スイッチ、ボイラーなど、火花や裸火を発するものから離して保管・運搬し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- 燃料の保管や輸送を行う場合は、常に認可された専用容器を使用してください。

長期保管

- パワーカッターを長期間保管するときは、必ず燃料タンクを空にしてください。余分な燃料の処分方法については、地域のガソリンスタンドにお尋ねください。

OilGuard(K760 OilGuard)

- OilGuardを装備するマシンは、誤った燃料混合を認識できる内蔵システムを持っています。
- マシンが起動すると、約10秒で検出装置が燃料の品質を読み取ります。正しい分量のハスクバーナOilGuardオイルが使用されている場合、マシンは通常の速度で動作します。違う種類のオイルが使用されている場合、マシンがこれを検出し、エンジンの回転数を3,800 r p mへ制限し、エンジンの損傷を回避します。
- 通常の速度でマシンを動作させるには、誤った混合燃料を排出して、ハスクバーナOilGuardオイルの正しい混合比率(2%)の燃料を充填します。

防護装備

概要

- 事故のときに、助けを求めることができない状況で、パワーカッターを使用してはいけません。

使用者の防護装備

本機を使用するときは、認可のある身体防護具を必ず着用してください。防護装備で負傷の危険性をなくすことができるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合でも、負傷の程度を軽減できます。適切な防護装備の選択については、販売店にご相談ください。

警告!材料の切断、粉砕、穴あけ、サンディング、形成を行う機械を使用すると、人体にとって危険な化学物質を含んだ粉塵や蒸気が生成されることがあります。加工する材料の性質をチェックして、適切な呼吸マスクを使用してください。

長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、認可されているイヤマフを必ず着用してください。 イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら直ぐにイヤマフを外すようにしてください。

常に下記のものを着用してください。

- 承認されたヘルメット
- イヤマフ
- 認可された視覚保護具。防護マスクを使用する場合、認可された保護ゴーグルも着用する必要があります。認可された保護ゴーグルは、米国のANSI Z87.1あるいはEU諸国のEN 166規格に適合しなければなりません。バイザーは、EN 1731規格に適合しなければなりません。
- 呼吸マスク
- 高耐久性で、握りが確かな保護手袋
- 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な服装切断の際には火花が発生し、衣服に着火することがあります。防火綿または厚地のデニムを着ることを推奨します。ナイロン、ポリエステル、レーヨンなどの材質の衣服は着用しないでください。このような材質が発火した場合、溶けて肌にはりつく場合があります。短パンは着用しないでください。
- つま先部スチール製、ノンスリップ靴底のパワーカッター用防護靴

その他の保護装置

注記!本機での作業中、火花や火が発生することがあります。常に、消化装置をお手元に装備してください。

- 消火器
- 常に救急箱を手元に準備しておいてください。

一般的な安全注意事項

この項では、本機の使用に際しての基本的な安全注意事項について説明します。記載された情報は、専門家の技術や経験に代わるものではありません。

- 本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。作業者が初めて使用する場合、使用前に実践的な指示も受けることを推奨します。
- 周囲の人や彼らの財産を様々な事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者としてのあなたにあることをしっかりと心にとめてください。
- 本機は清潔にしておく必要があります。目印やステッカーは、完全に判読できなければなりません。

いつも常識のある取り扱いを

起こり得る状況をすべて予測し、対応することは不可能です。常に注意を払い、常識に適った使用方法で操作してください。安全でないと感じる事態になったら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービスショップや熟練ユーザーなどに相談してください。確信をもてない作業は行わないでください。

警告!本機の使用には危険が伴います。不注意または不適切な使用をすると、使用者やその他の人々が重傷や致命傷を負う危険性があります。

子供や本機の扱いに不慣れな人間に本機を使用させないようにしてください。

本取扱説明書の内容を読んで、理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。

疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用したときは絶対に本機を使用してはいけません。

警告!認定されていない改造や付属品の使用は、使用者や周囲の人が重傷を負う、または死亡することがあります。いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなく本機の設計に変更を加えないでください。

本製品を改造したり、改造の疑いがある製品を使用しないでください。

欠陥のある製品は絶対に使用しないでください。この取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

常に純正の部品をお使いください。

警告!本機では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、場合によって能動的あるいは受動的な医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。重傷または致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントの利用者は、本機を操作する前に、主治医およびペースメーカーの製造元に相談することをお奨めします。

作業区域の安全

警告!パワーカッターの安全距離は15メートルです。使用者は、動物や傍観者が、作業場所にいないことを確認する責任を負っています。切断は、作業場所に問題がなく、足場がしっかりしている場合にのみ、始めることができます。

- 周囲の状況をチェックして、本機の使用に影響があるものを除去してください。
- 人間や物体が切断装置に接触しないこと、さらに、切断中に飛び散る物体にぶつからないことを確認してください。
- 濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面が凍結するなど危険です。
- 作業場所が清潔ではないとき、安定した足場がないときには、本機を始動させてはいけません。予期しない障害物が移動してぶつからないように、注意を払ってください。切断時は、物が崩れたり、落下したりして、作業員が損傷しないように気をつけます。傾斜した場所で作業を行うときは特に注意します。
- 作業場には十分な照明が当てられており、安全な作業環境であることを確認します。
- 配管や電気ケーブルが、作業現場や切断する材料を通っていないことを確認してください。
- 容器(ドラム、パイプ、その他容器)内を切断する場合、最初に必ず可燃性の物質か、その他揮発性の物質がないことを確認してください。

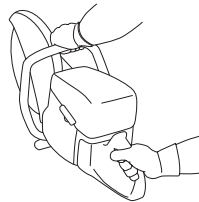
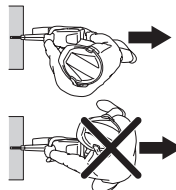
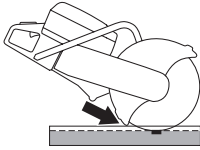
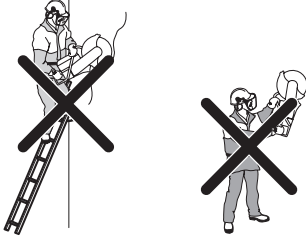
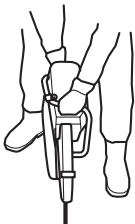
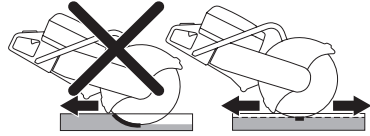
基本的な作業方法

警告!パワーカッターを片側に引っ張らないでください。ブレードが詰まったり破損して人身事故を起こす原因となります。

いかなる場合でもブレードの側面で研磨はしないでください。損傷や破損を起こし、重大な損害の原因になります。刃先の部分のみを使用してください。

プラスチック材の切断にダイアモンドブレードは決して使用しないでください。切断中に熱が発生してプラスチックが溶け、カッティングブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

金属の切断は、火災の原因となる火花を発生させます。引火しやすい物質またはガスの近くでマシンを使用しないでください。

- マシンは、ハンドヘルド高速パワーカッターとして、研磨ブレードあるいはダイアモンドブレードによる切断が実施できるように開発されています。本機は、他のブレードの装着、あるいは他の切断での使用について認められていません。
- カッティングブレードが正しく取り付けられており、損傷が存在しないことを確認します。「カッティングブレード」および「組立と設定」の説明を参照してください。
- 対象となる用途に対して、適切なカッティングブレードが使用されていることを確認します。詳細は、「"カッティングブレード"」を参照してください。
- アスベスト材は切断しないでください!
- パワーカッターを両手で持ち、親指と他の指で取り囲むようにしっかりハンドルを握ります。右手でリヤハンドル、左手でフロントハンドルを握ってください。右利き、左利きに関わらず、必ずこの握り方をしてください。パワーカッターを片手だけで操作することは厳禁です。

- カッティングブレードに対して平行に立ちます。真後ろに立たないようにしてください。キックバックが発生した場合、パワーカッターはカッティングブレードの水平面方向に動きます。

- エンジンの動作中においては、ブレードから距離を保ちます。
- モーターが作動している状態で、本機を管理者がいない状態にしないでください。
- 切断装置が回転している状態で、パワーカッターを移動しないでください。マシンには、停止時間を短縮するための摩擦抑制装置が備わっています。
- カッティング装置用ガードを適切に調整して、後ろ側が切断対象物と同一平面上になるようにします。ガードは切断くずや火花が飛び散るのを妨ぎ、使用者を保護します。切断装置のガードが、マシンの運転時にはいつでも取り付けられている必要があります。

- ブレードのキックバックゾーンを切**断のために**使用しないでください。詳細は、「キックバック」を参照してください。
- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 肩より高い位置で切断を行わないでください。
- ハシゴに乗って切断しないでください。肩より高い位置を切断する場合は、台や足場を利用してください。無理な体勢で作業しないでください。

- 切断対象物からほどよい距離に立ちます。
- パワーカッターを始動するとき、ブレードに何も触れていないことを確認します。
- カッティングブレードに対して、高速回転（フルスロットル）を徐々に適用し、切断が終了するまでフル回転を維持します。
- マシンを動作させるときは、ブレードに力を込めたり、押したりしてはいけません。
- パワーカッターはブレードの線上になるように真っ直ぐに下ろします。横からの圧力はブレードが損傷を受け、非常に危険です。

- ブレードをゆっくり前方、後方へ交互に移動しブレードと切断対象材料の間の接触部分を小さくします。これによりブレードの温度を下げ、切断効果が高まります。

粉塵の管理

マシンには、粉塵の発生を最小限に抑制する低圧流水キットである、DEX（粉塵除去器）が取り付けられています。

最適な粉塵の管理が可能な場合、DEXを装備した湿式カッティングブレードを使用してください。詳細は、「"カッティングブレード"」を参照してください。

タップを使用して水流を調整し、切断中に生じる粉塵を固めてください。必要とされる水量は、実施している作業の種類に応じて変わります。

供給源からきている水ホースが緩んでいる場合、マシンに接続されている水ホースの水圧が高過ぎることを示しています。推奨水圧については、「主要諸元」の説明を参照してください。

救助活動では、歯付きブレードあるいはカーバイドチップブレードで切断します。

警告!カーバイドチップブレードを装着したパワーカッターは、建設作業などの非緊急業務では使用しないでください。

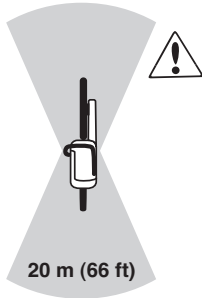
カーバイドチップブレードは、正しく使用しない場合、研磨ブレードやダイアモンドブレードよりもキックバックを起こしやすいことを、常に心に留めてください。

本パワーカッターを購入した公的救助隊（消防隊）が、カーバイドチップブレードをマシンに装着して使用する場合、以下の安全事項を遵守する必要があります。

訓練と防護具

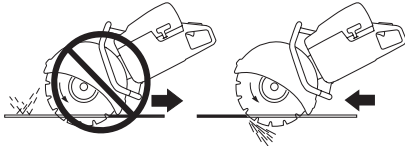
- カーバイドチップブレードを装着したパワーカッターによる切断作業を訓練したことのある作業者だけに、パワーカッターの使用を認めるようにしてください。
- 作業者は、常に完全耐火服を着用してください。
- 作業者は、フルフェースの防護マスク（防護メガネではなく）を着用して、飛び散ってくる破片や突然キックバックするパワーカッターから顔を護ってください。

危険エリア

上記の防護具を身に着けていない人間は、破片などが飛び散ってくる可能性のある危険エリア内に入れないようにしてください。

ブレード速度

カッティングブレードに対して、高速回転(フルスロットル)を徐々に適用し、切断が終了するまでフル回転を維持します。特に硬くて薄い物質の場合、ブレードを低速にするとカーバイドチップが詰まったり砕け散る可能性があります。

薄い材料

薄くて硬い材料(板金で覆われた屋根など)を切断する場合、最良のコントロールを得るために前方へ切断するようにしてください。

挟まりや引っ掛かり

切断の最終段階で加工物がどのように動くかを注意深く計算して、挟まりや引っ掛かりなどの障害を回避してください。切断中、切断部分が閉じないようにする必要があります。加工物に歪みが発生すると、切断部の空きスペースが無くなってブレードが挟まり、キックバックを起こしたり、ブレードを破損したりする可能性があります。

まっすぐに切断すること

切断ラインに対して斜めになったり、捻じれたりすると、切断効率の低下やブレードの損傷を招きます。

救助活動の前に

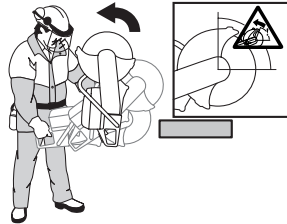
ブレードとブレードガードに損傷やひびのないことを確認します。強い力が加わったり、ひびが入ったときは、ブレードまたはブレードガードを交換します。

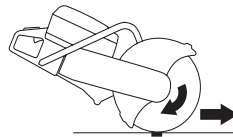
- カーバイドチップがカッティングブレードから緩んでいないかどうか検査します。
- ブレードに歪みがなく、ひびや他の損傷がないかどうか検査します。

硬い素材を切断すると、カーバイドチップブレードの切れ味は急激に悪くなります。救助活動のパフォーマンスを最大限に発揮できるよう、新しいブレードを装着しておくことを推奨します。

キックバック

警告!キックバックは突然発生し、非常に危険な場合があります。パワーカッターが作業者に向かって回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。キックバックの原因と、その防ぎ方を理解することは、非常に大切です。

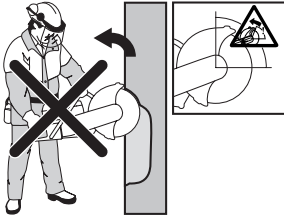
キックバックとは、ブレードがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかったりすると、パワーカッターが突然、上へ持ち上げられるような現象です。ほとんどのキックバックは小規模で、それほど危険を伴わないものです。しかしながら、キックバックは非常に危険な挙動を発生させることがあり、作業者に向かってパワーカッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。

反作用力

切断時、反作用用力は常に存在します。この力は、ブレード回転に対して逆の方向へマシンを引っ張るように働きます。通常、この力は問題にはなりません。ブレードが挟まったり、引っかかったりすると、反作用力は強力になり、パワーカッターをコントロールできなくなることがあります。

切断装置が回転している状態で、パワーカッターを移動しないでください。ジャイロ力により、意図した動きが阻害される場合があります。

キックバックゾーン

ブレードのキックバックゾーンを切**断のために**使用しないでください。ブレードがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかったりすると、反作用力により、作業者に向かってパワーカッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。

クライミングキックバック

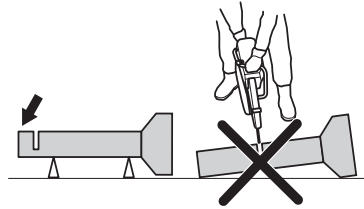
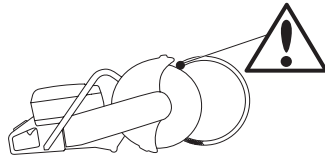
キックバックゾーンで切断が行われると、反作用力によりブレードが切断箇所から持ち上げられます。キックバックゾーンを使用しないでください。クライミングキックバックを回避するために、ブレードの下部、四分の一を使用してください。

ピンチングキックバック

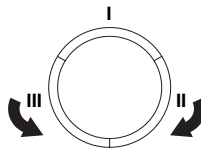
ピンチングとは、切断部が閉じて、ブレードを挟んでしまうことです。ブレードが挟まったり、引っかかったりすると、反作用力は強力になり、パワーカッターをコントロールできなくなることがあります。

ブレードがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかったりすると、反作用力により、作業者に向かってパワーカッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。作業対象物が移動する可能性に注意してください。作業対象物がしっかりと保持されておらず、切断時に動くと、ブレードが挟まり、キックバックの原因になる可能性があります。

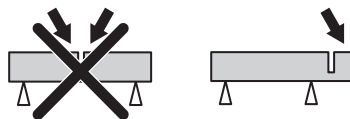
パイプ切断

パイプを研磨切断する場合、特に注意すべきことがあります。パイプがしっかりと保持されておらず、切断時、切断部がオープン状態を維持している場合、ブレードがキックバックゾーンで挟まり、危険なキックバックが発生することがあります。先端が鐘型に広がったパイプや、トレンチに入っていてしっかりと保持しないとパイプがたわんでブレードが挟まる可能性のあるパイプを切断するときは特に注意してください。

切断を開始する前に、切断中動いたり回ったりしないように、パイプをしっかり固定する必要があります。

パイプがたわみ、切断部が閉じると、ブレードが挟まれ、キックバックゾーンに入り激しいキックバックが起きる可能性があります。パイプがしっかりと保持され、パイプの端が下に動けば、切断部が開き、挟まれることはありません。

パイプを切断する正しい順序

1 最初に、セクションIを切断します。
2 サイドIIに移動して、セクションIからパイプの底部まで切断します。
3 サイドIIIに移動して、底部のパイプの端部を切断します。

キックバックの避け方

キックバックの回避は簡単です。

- 加工物は常に保持して、切断の最後まで切断部が閉じないようにしてください。切断部が開いていれば、キックバックは発生しません。切断部が閉じて、ブレードが挟まると、常にキックバックの危険があります。

- 既存の切れ目にブレードを挿入するときは注意してください。
- 切断対象物の動きや、その他起こり得るどんなことに対しても油断をしないでください。切断面が閉じたりブレードが挟まれたりすることがあります。

搬送と保管

- 搬送の間、損傷や事故が起こらないように、機器をしっかりと固定してください。
- カッティングブレードを付けたままパワーカッターを保管したり、搬送しないでください。
- カッティングブレードの搬送と保管については、「カッティングブレード」をご参照ください。
- 燃料の輸送と保管については、「燃料の取り扱い」をご参照ください。
- 装置を、子供や、許可されていない人の手の届かない鍵のかかる場所に保管します。

始動と停止

始動前に

警告!始動時には以下の注意点を守ってください:本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

防護装備を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。

ベルトまたはベルトガードが取り付けられていない状態で、本機を始動させないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

燃料キャップが正しく固定されており、燃料漏れがないことを確認してください。

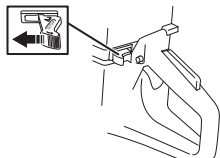
深刻な傷害を引き起こす危険があるので、関係者以外の人間が作業エリアに入れないようにしてください。

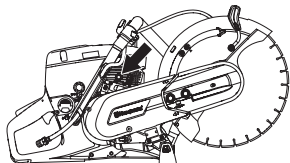
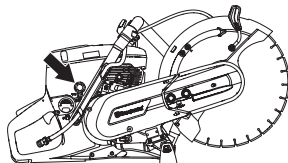
- 毎日のメンテナンスを実施してください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

始動

警告!カッティングブレードは、エンジンが始動すると回転します。正常に回転していることを確認してください。

常温エンジンの場合:

- ストップスイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認してください。

- チョークコントロールを完全に引き出すことにより、スタートスロットル位置とチョークの状態にすることができます。

- **デコンプバルブ:シリンダー内の圧力を下げるため、バルブを押してください。これは、パワーカッターの始動を助けるためのものです。デコンプバルブは、始動時には常に使用してください。マシンの始動時、バルブは自動的に初期位置に戻ります。**

- 燃料がダイアフラムを満たし始めるまでエアパージダイアフラムを繰り返し押します(約6回)。ダイアフラムが満杯になるまで充填する必要はありません。

- 左手でフロントハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、パワーカッターを地面に押し付けます。エンジンが始動するまで、開始ハンドルを押します。**スターターロープは絶対に手に巻き付けないでください。**

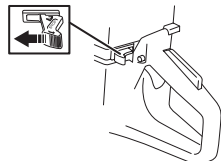
- エンジンが開始したら素早くチョークコントロールを押します。チョークが引き出され、エンジンが数秒後に停止します。(エンジンが停止した場合、スターターハンドルを再び引きます。)
- スロットルトリガーを押してスタートスロットルを解除するとマシンがアイドリング状態になります。

注記!抵抗を感じるまで (スターター爪が噛み合うまで) 右手でスターターロープをゆっくり引いて、抵抗を感じたら一気に強く引きます。

スターターロープをいっぱいに引き出したところから、スターターハンドルを急に放さないでください。パワーカッターが損傷を受ける可能性があります。

始動と停止

常温エンジンの場合：

- ストップスイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認してください。

- チョークコントロールをチョーク位置に引きます。チョーク位置はまた自動スタートスロットル位置になります。

- デコンプバルブ：シリンダー内の圧力を下げるため、バルブを押してください。これは、パワーカッターの始動を助けるためのものです。デコンプバルブは、始動時には常に使用してください。マシンの始動時、バルブは自動的に初期位置に戻ります。

- チョークコントロールを押してチョークを無効にします。

（スタートスロットル位置はそのままです。）

- 左手でフロントハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、パワーカッターを地面に押し付けます。エンジンが始動するまで、開始ハンドルを押します。**スターターロープは絶対に手に巻き付けないでください**。

- スロットルトリガーを押してスタートスロットルを解除するとマシンがアイドリング状態になります。

注記！抵抗を感じるまで (スターター爪が噛み合うまで) 右手でスターターロープをゆっくり引いて、抵抗を感じたら一気に強く引きます。

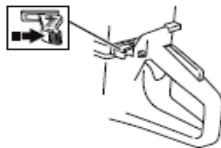
スターターロープをいっぱいに引き出したところから、スターターハンドルを急に放さないでください。パワーカッターが損傷を受ける可能性があります。

警告！エンジンが運転している場合、排気ガスには不燃焼の炭化水素や一酸化炭素などの化学物質が含まれています。排気ガスの含有物は呼吸器障害、ガン、先天異常その他生殖障害の原因となることが知られています。

一酸化炭素は無色、無味で、排気ガスには必ず含まれています。一酸化炭素中毒の徴候は、軽度のめまいで、本人が認識できる場合も、できない場合もあります。一酸化炭素の濃度が高い場合、突然倒れ、意識を失う場合があります。一酸化炭素は無色無臭であるため、存在するかどうかわかりません。排気臭がする場合は必ず、一酸化炭素が存在します。ガソリン駆動のパワーカッターは、屋内3 フィート（1 メーター）以上の深さの溝、その他換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。溝やその他密閉された場所で作業をする場合は、必ず換気を適切に行ってください。

停止

注記！カッティングブレードは、モーターが停止した後も一分間程度回転を続けます。（ブレードコースティング）カッティングブレードは完全に停止するまで、そのまま回転させてください。不注意により、重大な傷害を引き起こすことがあります。

- ストップスイッチ（STOP）を右に移動させることで、エンジンが停止します。

メンテナンス

概要

警告！使用者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くのサービス代理店（販売店）に依頼してください。

停止スイッチを STOP 位置にして、エンジンを切ってください。

身体保護具を着用してください。「使用者の防護装備」の項の説明を参照してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、整備・修理を専門技術者に依頼しなかったりすると機械の寿命を縮め、事故発生の危険性が増します。詳しくは、お近くのサービスショップにお問い合わせください。

- ハスクバーナの販売店で定期的に本機を点検し、重要な調整や修理を行ってください。

メンテナンスのスケジュール

メンテナンススケジュールにより、メンテナンスが必要なマシンの箇所と、それを実施すべき頻度が分かります。実施間隔は、マシンが毎日使用されることを前提に算出されていて、使用頻度によって異なります。

毎日のメンテナンス	**週次メンテナンス**	**月次メンテナンス**
クリーニング	**クリーニング**	**クリーニング**
外部クリーニング		スパークプラグ
吸気口の冷却		燃料タンク
機能検査	**機能検査**	**機能検査**
一般点検	振動軽減システム*	燃料システム
スロットルロック*	マフラー*	エアフィルター
ストップスイッチ*	駆動ベルト	ドライブギア、クラッチ
ブレードガード*	キャブレター	
カッティングブレード**	スターター	

* 詳細は、「"製品の安全装置"」を参照してください。

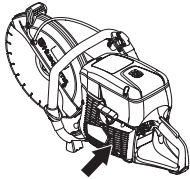
** 「"カッティングブレード"」および「"組立と設定"」の説明を参照してください。

クリーニング

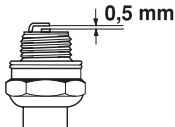
外部クリーニング

- 作業の終了時にはいつも、本機をきれいな水で洗浄してください。

吸気口の冷却

- 必要に応じて冷却用吸気口をクリーニングしてください。

注記!吸気口が汚れたり詰まっていると、パワーカッターが過熱状態になり、ピストンやシリンダーに損傷を与えることになります。

スパークプラグ

- エンジンのパワーが出ない、なかなか始動しない、アイドリングが安定しないなどの場合は、何よりもまずスパークプラグを点検してください。
- 感電の危険を回避するために、スパークプラグキャップやイグニションリードが損傷していないことを確認してください。
- スパークプラグが汚れていたら、きれいにしてから電極ギャップが0.5 mmかどうか確認します。必要である場合交換します。

注記!必ず指定のタイプのスパークプラグを使用してください!不適正なスパークプラグは、ピストンやシリンダーの損傷の原因となります。

上記の要因によりスパークプラグ電極にカーボンが付着し、運転中の不具合や始動困難などの原因となります。

- 誤った混合燃料(オイル過多または間違ったオイルの使用)
- エアフィルターの汚れ

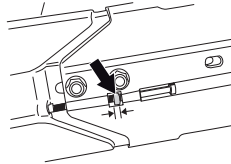
機能検査

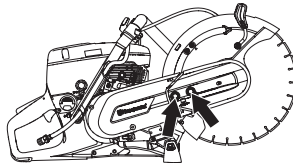
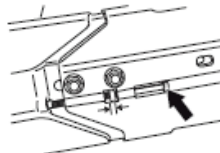
一般点検

- ナットおよびねじが確実に締められているかどうかを確認します。

駆動ベルト

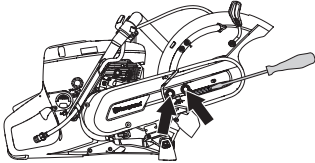
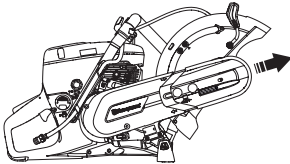
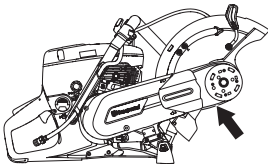
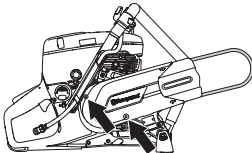
駆動ベルトの張りを検査します。

- 駆動ベルトに適切なテンションをかけるには、四角ナットが、ベルトカバーのマーキングの反対側に位置するようにしてください。

駆動ベルトの張り具合

- 新しい駆動ベルドは、燃料を1または2タンク分使用した後で、張りの調整をしてください。
- マシンに摩擦抑制装置が備わっている場合、手でブレードの向きを変えると、引っかくような音が聞こえることがあります。これは極めて正常です。ご質問があれば、ハスクバーナの正規取扱店にお問い合わせください。
- 駆動ベルトは密封され、ほこりや汚れから効果的に保護されています。
- 駆動ベルトにテンションをかける場合は、カッティングアームを固定しているボルトを緩めます。

- 四角ナットがカバー上のマーキングの反対側に来るように、調整ネジを回します。これによって、自動的にベルトを正しい張り具合に調整することができます。

- コンビレンチを使用して、カッティングヘッドを固定しているねじの両方を締めます。

駆動ベルトの交換

警告!ベルトプーリーとクラッチがメンテナンスのために外されているときは、決してエンジンを始動させないでください。カッティングアームまたはカッティングヘッドが取り付けられていない状態で、パワーカッターを始動させないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

- 最初に二箇所のボルトを緩め、続いて調整ねじを緩めて、ベルトのテンションを無くします。

- 次に、ボルトを緩めて、ベルトガードを外します。

- ベルトプーリーからベルトを外します。

- この時点で、カッティングヘッドは緩んでいて、マシンから取り外すことができます。ガードを固定している2つのねじを緩めることで、リアベルトガードを外します。

- 駆動ベルトを交換します。
- 解体をした順番と逆の順番で、組立を行います。

キャブレター

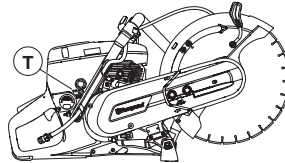
キャブレターには、固定ニードルが取り付けられており、マシンが燃料と空気の正しく混合された状態をいつも保てるようにします。エンジンのパワーが足りない時、加速が悪いときは、以下を行います:

- エアフィルターを点検し、必要であれば交換します。効果がないときは、弊社指定のサービスショップに問い合わせてください。

アイドリング速度の調整

注記!アイドリング設定が調節できず、ブレードが動かない場合は、販売店またはサービスショップにご連絡ください。パワーカッターのご使用は、調整または修理が完了するまでお控えください。

エンジンを始動しアイドリング設定をチェックします。キャブレターが正しく設定されていると、カッティングブレードはアイドリング時に静止状態になるはずです。

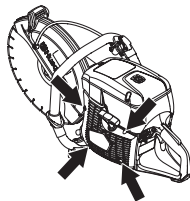
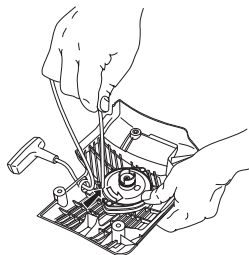
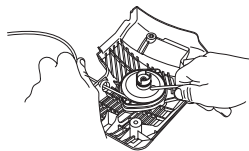
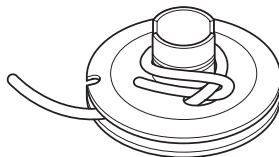
- アイドリング速度をTスクリューで行います。調整が必要であれば、ブレードが回転を開始するまで、スクリューを時計回りに回します。次に、ブレードが回転を停止するまで、スクリューを反時計回りに回します。

推奨アイドリング速度:2700 rpm

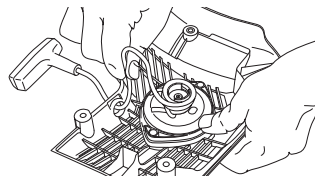
スターター

警告!リコイルスプリングは張力を持った状態でスターターハウジングに組み込まれているため、不注意に取り扱うとスプリングが飛び出して負傷の原因となることがあります。

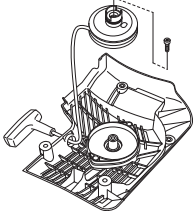
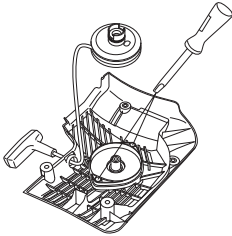
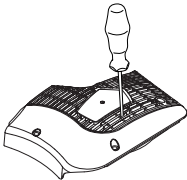
リコイルスプリングやスターターロープを交換するときは、注意深く行ってください。いつも保護ゴーグルを着用してください。

切れたり擦り減ったりしたスターターロープの交換

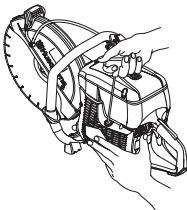
- スターターをクランクケースに固定しているネジをゆるめ、スターターを外します。

- コードを約30 cm引き、スタータープーリーの表面のカットアウトまで持ち上げます。コードに損傷がない場合:スプリングの張力を、プーリーをゆっくりと逆に回転させることにより、解放します。

- 古いスターターコードの残りの部分を取り除き、リターンスプリングが動作することを確認します。新しいスターターコードをスターターハウジングとコードプーリーの穴を通して挿入します。

- スターターコードを、図のとおりにコードプーリーの周りに固定します。締め具をよく締めて、自由端が可能な限り短くなるようにします。スターターコードの終わり部分をスターターハンドルに固定します。

リコイルスプリングを張る

- コードを、プーリーの表面のカットアウトを通して導き、スタータープーリーの中心の周りに、コードを3回時計回りに巻きつけます。

- 次にスターターハンドルを引き、それによってスプリングを引き締めます。もう一度、以上を繰り返しますが、今回は4回巻きます。
- スプリングを締めた後、スターターハンドルが正しくホームポジションにあることを確認します。
- スターターラインを完全に引き、スプリングが最終位置にないことを確認します。親指でスタータープーリーの速度をゆるめ、プーリーを少なくとも反回転で回すことができることを確認します。

破損したリコイルスプリングの交換

- プーリーの中心のボルトを外し、プーリーを取り外します。

- リターンスプリングが、スターターハウジング内で引き締められた状態であることに注意してください。
- スプリングカセットを固定しているボルトをゆるめます。

- ねじ回しを使用して、スターターを回し、フックをゆるめることで、リコイルスプリングを外します。フックは、スターター上のリターンスプリングの組立部を保持しています。

- リコイルスプリングに薄いオイルを塗布します。プーリーを取り付け、リコイルスプリングを引き締めます。

スターター装置の組立

- スターター装置の組立には、まずスターターロープを引き出し、スターター装置をクランクケースにあてがいます。次にプーリーに爪がかかるよう、スターターロープをゆっくりと戻します。

- ねじを締めます。

燃料システム

概要

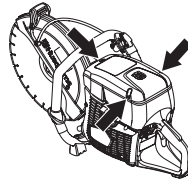
- 燃料キャップとシール部が損傷してないことをチェックします。
- 燃料ホースを点検します。損傷があるときは交換します。

燃料フィルター

- 燃料フィルターは、燃料タンクの内部にあります。
- 燃料タンクに給油するときは、不純物が入ることがないようにしてください。これによって、タンク内の燃料フィルターが閉塞することによる動作上の障害リスクを減少させることができます。
- フィルターが目詰まりした場合は、クリーニングすることはできません。新しいものと交換してください。**燃料フィルターは、少なくとも年に一度交換してください。**

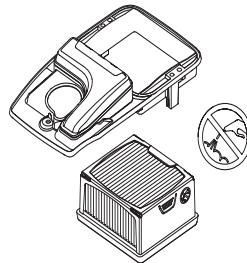
エアフィルター

エンジンの力が落ちている場合、エアフィルターのみを点検する必要があります。

- ねじを締めます。エアフィルターカバーを取り外します。

- エアフィルターを点検し、必要であれば交換します。

エアフィルターをクリーニングします。

> 注記!エアフィルターは、圧縮空気で掃除しないでください。フィルターを傷つけることがあります。

- ねじを締めます。カバーを外します。

- エアフィルターを交換します。

ドライブギア、クラッチ

- クラッチセンター、ドライブギア、およびクラッチスプリングに摩耗がないか点検します。

主要諸元

主要諸元	K760, K760 Rescue
エンジン	
排気量、cm^3	74
シリンダー内径、mm	51
ストローク、mm	36
アイドリング回転数、rpm	2700
フルスロットルー負荷なし、rpm	9300 (+/- 150)
出力、kW/rpm	3.7/9000
イグニションシステム	
イグニションシステムのメーカー	SEM
イグニションシステムの型式	CD
スパークプラグ	Champion RCJ 6Y/ NGK BPMR 7A
電極ギャップ、mm	0.5
燃料および潤滑システム	
キャブレターのメーカー	Zama
キャブレターの型式	C3
燃料タンク容量、リットル	0,9
水冷却	
推奨水圧、バール	0.5-10

重量	12 インチ (300 mm)	14 インチ (350 mm)
燃料とカッティングブレードを除くパワーカッター本体、kg	9.6	9.8

騒音(注記1参照)		
音響パワーレベル、測定値dB(A)	113	113
音響パワーレベル、L_{WA} dB(A)により保証	115	115
音量レベル(注記 2 参照)		
使用者聴覚での等価音圧レベル、dB(A)	101	101
等価振動レベル、a_{hveq} (注記3参照)		
フロントハンドル、m/s^2	<2.5	<2.5
リヤハンドル、m/s^2	<2.5	<2.5

注記1:環境における騒音放射は、EC指令2000/14/ECに従って、音響パワー(L_{WA})として測定しました。保証音響と計測音響の違いは、保証音響には指令2000/14/ECに従って計測結果のばらつきと、同じモデルの異なるパワーカッター間の変動が含まれている点です。

注記 2:等価騒音レベルは EN ISO 19432 ▯則し、さまざまな作動状態における騒音レベルの時間加重エネ ルギーとして計算されます。報告データによれば、ブロワーの等価騒音レベルの一般的な統計上のばらつき(標準偏差)は、1 dB(A)となります。

注記3:等価振動レベルはEN ISO 19432に則し、さまざまな作動状態における振動レベルの時間加重エネルギーとして計算されます。報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき(標準偏差)は、1 m/s^2です。

カッティング装置

カッティングブレード	最大切断深度、mm	最大周速、m/s	出力シャフト最高速度、rpm	ブレード最高厚さ、mm
12 インチ (300 mm)	100	80	4700	5
14 インチ (350 mm)	125	90	4700	5

EC適合性宣言

（ヨーロッパにのみ適用）

ハスクバーナ社（SE-561 82 Huskvarna, Sweden、電話: +46-36-146500） 2013年のシリアル番号以降(年は銘板にシリアル番号の前に明記）の**Husqvarna K760, K760 Rescue**が、以下の評議会指令の規格に適合することを単独責任のもとで宣言します。

- 2006年5月17日付「機械類に関する」**2006/42/EC**
- 2004年12月15日付「電磁波適合性に関する」**2004/108/EC**
- 2000年5月8日付「環境への騒音放射に関する」**2000/14/EC付録Vに従った適合性評価**。

騒音放射に関する詳細は「主要諸元」の章を参照してください。

次の標準規格にも適合しています。**EN ISO 12100:2010、ISO 14982:1998、EN ISO 19432:2012.**

試験機関:0404, SMP Svensk Maskinprovning社（Box 7035, SE-750 07 Uppsala, Sweden）がハスクバーナ社のために、機械指令（2006/42/EC）に基づき 自主試験を実施しました。証明書の番号:SEC/10/2285

さらに SMP、Svensk Maskinprovning社（Box 7035, SE-750 07 Uppsala, Sweden）が、2000 年 5 月 8 日付けの「環境への騒音排出に関する」評議会指令 2000/14/EC の付録 V に適合することも認定しました。証明書の番号:01/169/031 -K760, K760 Rescue

Gothenburg、2015 年 2 月 3 日

Helena Grubb

ハスクバーナAB建設機器担当副社長

（ハスクバーナAB正式代表兼技術文書担当）

取扱説明書原本

1155019-79

2015-02-04 rev2